

(大阪大学放射線科学基盤機構・新規教育研究プロジェクト準備経費)

「福島第一原子力発電所事故に関する分野横断シンポジウム」の開催のご案内

福島第一原子力発電所事故が起こってから10年を経て、我々の周り(関西など)では、少し話題に上がることも減ってきた感じを受けていますが、事態は全く解決しておらず、現地の環境回復や社会回復にも多くの問題を抱え、これからますます人材が必要になる状況にあります。当初からの課題である環境放射能、放射線被ばく、事故解析・廃炉・環境回復など科学、医療、技術的側面に加え、現在では、社会的な諸課題も顕在化しており、いずれも複合的な対応が求められます。そこで、今後の活動のベースとすべく、科学技術系に加え人文社会系を含む分野横断的組織からなる、教育や研究、そして人材育成のネットワーク拠点形成を計画しています。本シンポジウムは、10年目の3.11前日に、分野横断的に福島のことを考え討論する機会とするのみならず、ネットワーク拠点設置のスタートとすべく開催するものです。少しでも関心のある方に、分野を問わず広く参加いただければ幸いです。

篠原 厚 (阪大院理)

問合せ先: naraharan17_at_chem.sci.osaka-u.ac.jp (楢原)

参加登録: 以下の Google フォームから参加登録をしてください (3/8 〆切)。後日 ZOOM-ID が送られます。(本シンポジウムは対面とオンラインによるハイブリッドで行われます。)

登録サイト: <https://forms.gle/9KDcH7zGCYabLquv6>

.....

「福島第一原子力発電所事故に関する分野横断シンポジウム」

日時: 3月10日 13:30~18:00

場所: 大阪大学理学部 F 棟・F608+ZOOM ハイブリッド

プログラム (暫定)

13:30 はじめに 篠原 厚 (阪大院理)

(基調講演)

13:35 山名 元 先生 (NDF 理事長) 「福島第一事故後対応の全体像 (廃炉・復興・諸課題)」

(講演・話題提供)

14:50 五十嵐康人 (京大複合研) 「ガラス状放射性微粒子から考える廃炉と環境汚染」

<ブレイク>

15:40 岸本充生 (阪大 ELSI) 「科学と社会の間の空白とリスク学: 3.11 後の安全を考える」

16:15 上川龍之進 (阪大院法) 「3.11 後の原子力政策」

16:50 谷畑勇夫 (阪大 RCNP) 「原子炉事故から 10 年間の活動と今後の展望」

17:25 コメント、総合討論

18:00 閉会